

第1学年 国語科 シラバス

◎中学校の国語科では…

国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる

ことを目標としています。

◎中学1年生の国語科では……

A「知識及び技能」

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。

B「思考力、判断力、表現力等」

筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものに行うことができるようにする。

C「学びに向かう力、人間性等」

言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

☆本校ではこれらの目標を次の「学習計画」「評価の観点・評価の方法」「授業の特色」を基に達成を目指します。

原山中の国語科はこんな授業です！

様々な学習プリントを活用して、わかりやすい授業を目指します。

疑問、わからない点について気軽に質問できます。



自ら設定した課題について調べたり、作品を創作したり、様々な活動を取り入れて、国語力を高めます。

国文法については、工夫して覚えたり、練習問題を繰り返したりします。

古典の学習の際、資料を見たり暗唱をしたりして、興味をもてるよう工夫します。

漢字や語句の基本的な知識の定着を目指すと同時に美しく整った字を書く練習します。

評価の観点

国語科では次の3つの観点で評価します。

知識・技能

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。

思考・判断・表現

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものに行っている。

主体的に学習に取り組む態度

言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものに行ったりしながら、言葉がもつ価値に気付こうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使うとしている。

学習計画			
期	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	・ふしぎ	・詩のリズムや工夫された表現技法に気づく。 ・読み取ったことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。
		・桜蝶	・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える。
	5	・お気に入りの一品を紹介する	・事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。
		・言葉の単位	・言葉の単位について理解する。
		・箱に入った桃太郎 ・竹取物語	・歴史的仮名づかいを知り、音読する。 ・現代と異なる意味をもつ言葉に注意し、古文の暗唱に挑戦する。
	6	・硬筆	・漢字と仮名の大きさ、字形に気をつけて、配置よく書く。
		・自分の脳を知っていますか	・目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈する。 ・文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握する。
		・資料から得た根拠を基に意見文を書く	・根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。
		・内容を整理して説明する	・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使う。
	7	・日本語の音声	・日本語の音声の特徴を知る。
		・ベンチ	・戦争とその背景について学び、作者の思いを読み取る。 ・本や文章から必要な情報を読み取る方法を身につける。
		・全ては編集されている	・目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈する。
2 学 期	8	・ビブリオバトルをしよう	・読書に親しみ、自分のおすすめ本の紹介をわかりやすくする。
		9	・持続可能な未来を創るために一人の暮らし方を考える
	・森には魔法使いがいる		・論理の展開を捉えて読む
	・文の成分		・文の成分の役割について理解する。
	10	・根拠を明確にして意見文を書く	・自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして文章を工夫する
		・オツベルと象	・作品の構成や展開をとらえる。
		・河童と蛙	・情報を思い描きながら読む。
		11	・日本語の文字
	・随筆を書く		・叙述の仕方を確かめて文章を整える。
	・漢字の音と訓		・漢字の音訓について理解する。
	12	・中国の名言	・訓読の仕方を知り、漢文特有のリズムを味わう。
		・子どもの権利	・共通点や相違点を踏まえて考えをまとめる。
・言葉がつなぐ世界遺産		・筆者の問題提起と向き合い、言葉の果たす役割をとらえる。	
・読み手を意識して報告文を整える ・書き初め		・読み手の立場に立って文章を整えて書く。 ・用紙の形や大きさに合わせ、文字の大小や字間、行の中心に気をつけて、配置よく書く。	
3 学 期	1	・単語のいろいろ	・単語の分類の基準について理解する。
		・四季の詩	・表現技法に込められた作者の物の見方、考え方をとらえる。
		・少年の日の思い出	・登場人物の心情変化に注意し、作品の主題を考える。
	2	・漫画で「物語」を表現する	・目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈する。
		・熟語の構成	・熟語を構成する「型」を知り、分類できるようにする。 ・言葉のはたらきと体力向上について考える。
	3	・発言を結び付けて話し合う	・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる。
・蜘蛛の糸		・読書に適した本を見つける。	

学習計画は、実態に応じて変更になることがあります。
必要に応じて便覧・文法・漢字の副教材を使用します。